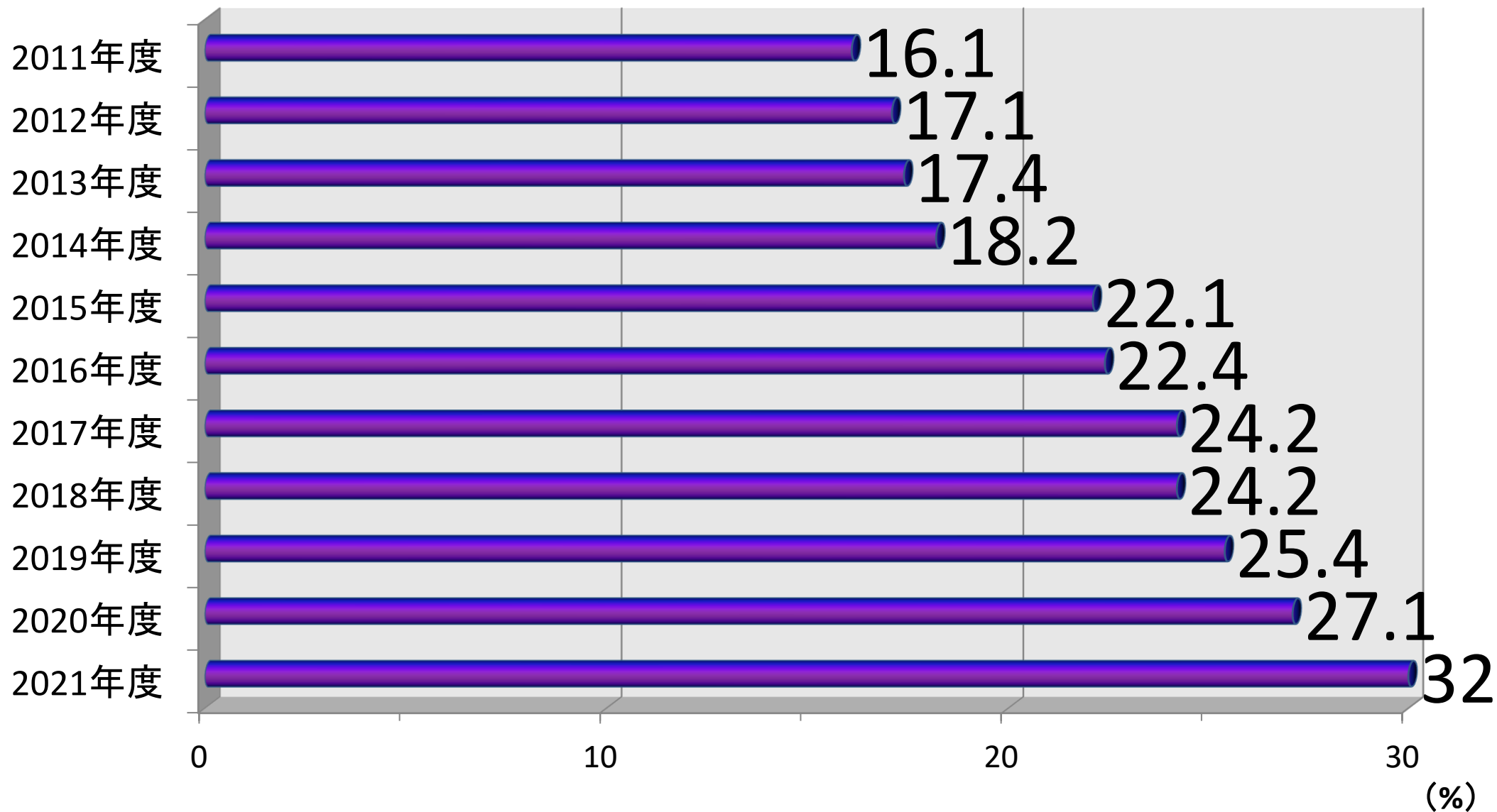


# リハビリテーションの実績と あらたな取組み

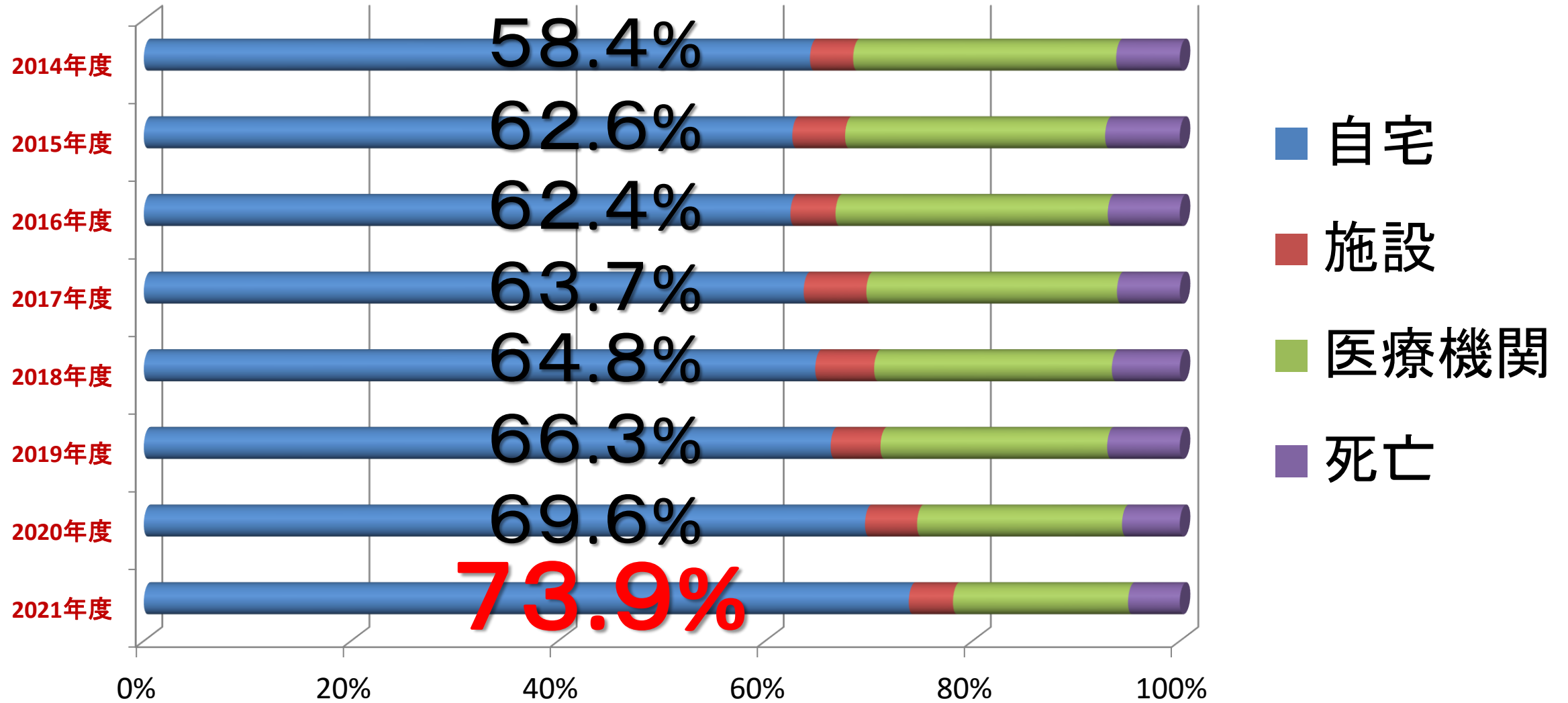
## リハビリテーション技術科

- 言語聴覚士(ST) 岩崎佳乃子, 大畑尚子, 久保田恵理, 黒山千穂乃  
富永真由
- 作業療法士(OT) 石向 航, 尾田 睦, 笹谷聡恵, 水上紘司, 安本良子
- 理学療法士(PT) 芦田拓真, 小野田博繁, 小柳慎介, 佐藤俊史  
篠原宏幸, 鈴木康介, 杉山和寛, 曾根祥仁, 高塚俊行  
田中伸明, 中沢 稔, 藤井奈美, 藤本水萌, 藤吉翔吏  
牧野泰枝, 増田晋哉, 増田千紘, 山根康嗣
- 技術科科長(ME) 佐藤景二

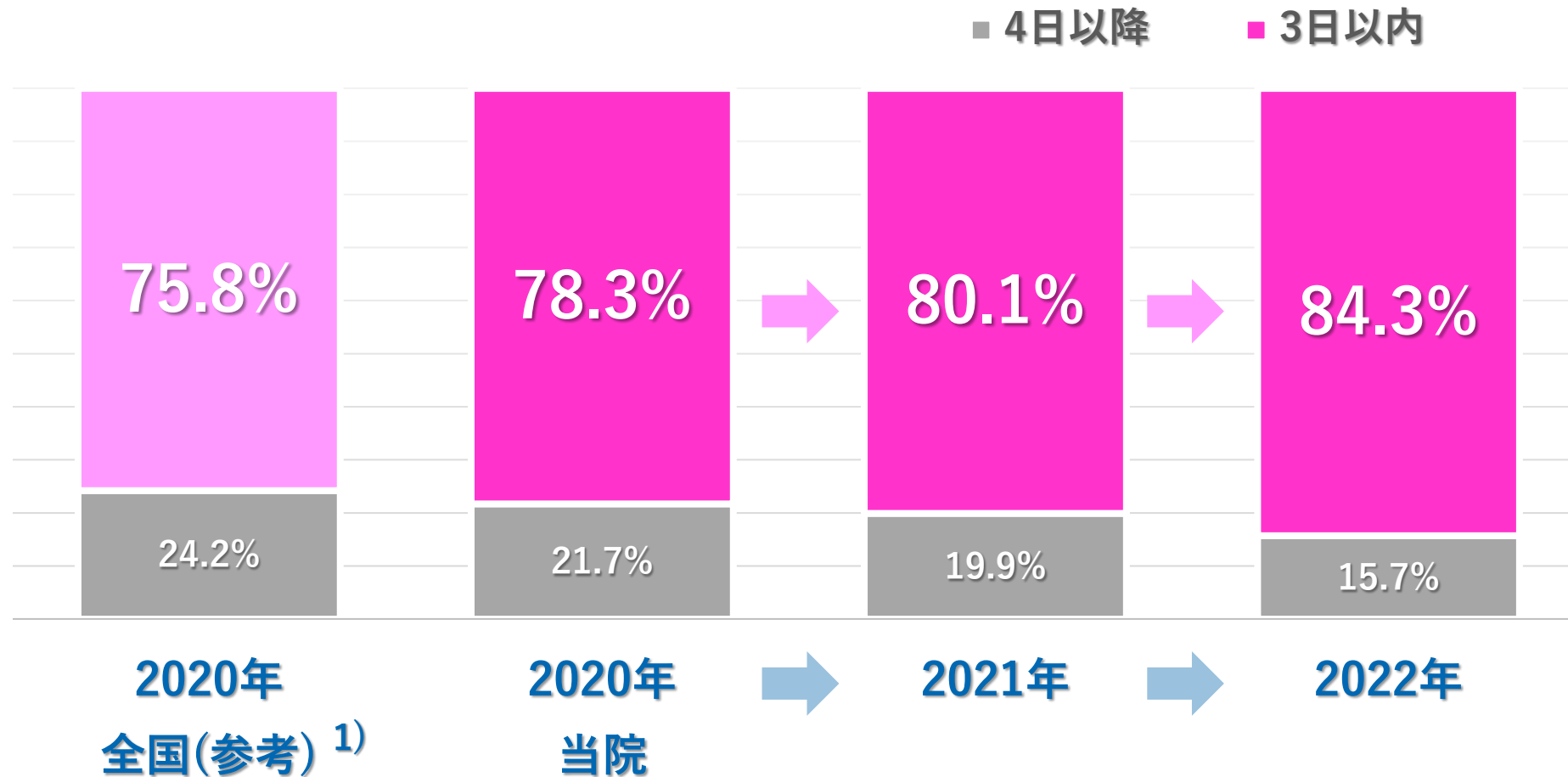
# 入院患者のリハ実施率



# 自宅から入院した方の転帰先



# 脳梗塞における入院後3日以内リハビリ実施患者の割合



1) 日本病院会ホームページ:2020年度 QIプロジェクト 結果報告, 一般-31

\* QI (Quality Indicator) :「質を表す指標」

# 大腿骨近位部骨折患者に対する二次性骨折予防に向けた取り組み

## はじめに

大腿骨近位部骨折（大腿骨頸部骨折、大腿骨転子部骨折）は、加齢に伴う骨粗鬆症や筋力低下、バランス能力低下などの運動機能障害を原因として起こる脆弱性骨折です。

発生の原因としては **転倒** が最も多く、要介護状態や寝たきり、健康寿命の短縮など、様々な問題を引き起こします。

そして、一度骨折を起こすと再骨折のリスクが高まるため、早期からの **二次性骨折の予防・治療** が重要となります。

当院に大腿骨近位部骨折で入院される患者様においても年々高齢化が進み、二次性骨折のリスクが高い状態と言えます。

当院における2021年度の大腿骨近位部骨折患者に対する理学療法依頼件数は、169件（内訳：大腿骨頸部骨折104件、大腿骨転子部骨折65件）、平均年齢は84.4歳、男女比は1：3でした。

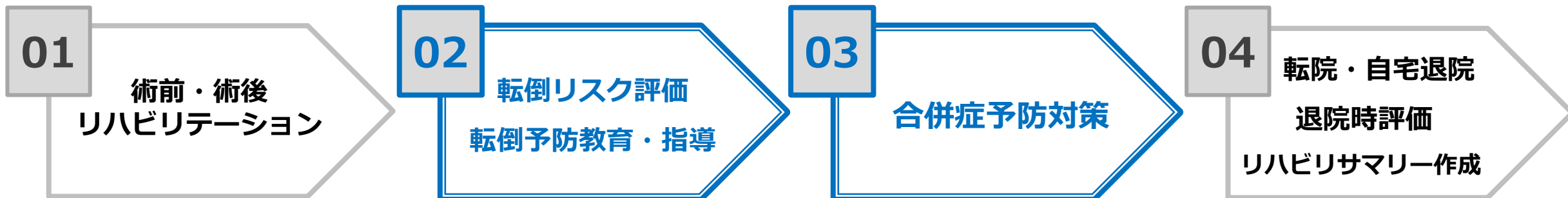
この二次性骨折の予防に向けて、これまでの一般的な大腿骨近位部骨折患者に対する理学療法に加えて、

**転倒リスクの評価見直し、骨粗鬆症・転倒予防のためのパンフレット(冊子)作成、**

**本人・家族への教育・指導、合併症予防対策を徹底することとしました。**

# 大腿骨近位部骨折患者へのリハビリテーション

## 入院後のリハビリテーションの流れ



01

術前は主にベッド上にてリハビリを実施し、術後は手術翌日よりリハビリテーションを開始する

目的：術後早期よりリハビリを開始し、歩行能力の向上及びADLの改善を目指す

プログラム：関節可動域練習、筋力強化練習、起居移乗動作・日常生活動作練習、歩行練習、応用動作練習など



● 関節可動域練習



● 筋力練習



● 起居移乗動作練習



● 歩行練習



## 課題

転倒リスク評価の見直し、転倒予防教育・指導の強化、合併症予防対策の徹底

# 二次性骨折予防のための新たな取り組み

02

転倒リスク評価  
転倒予防教育・指導

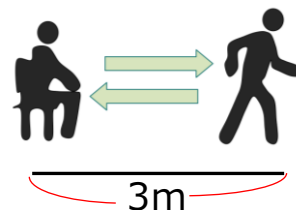


評価バッテリー、評価方法などの見直し

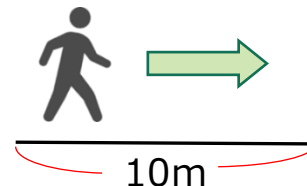
- 開眼片脚立位



- TUG (Timed up and Go Test)



- 10m歩行テスト



骨粗鬆症・転倒予防のパンフレットを作成 骨粗鬆症・転倒予防の教育・指導を徹底、二次性骨折予防につなげる

## 骨と筋肉を鍛えて 転倒予防

加齢とともに骨が弱って骨粗鬆症になり、筋力や体力、バランス能力が低下して転倒リスクが高くなります。

### 骨粗鬆症の症状



上記のような症状が一つでもあれば骨粗鬆症の可能性がります



## 骨と筋肉を鍛えて 転倒予防

骨粗鬆症によって骨がもろくなると、わずかな力で骨折が生じてしまいます。これを脆弱性骨折といいます。そして、一度骨折すると次の骨折、二次性骨折のリスクが高くなってしまいますため、転倒予防や骨粗鬆症の治療が必要です。

### 高齢者に多い骨折



## 骨と筋肉を鍛えて 転倒予防

### ロコチェックで転びやすさをチェック！！



これらはすべて、骨や筋肉、関節などの運動器が衰えているサインです。1つでも当てはまればロコモの可能性あり！簡単なものからロコトレを始めてみましょう！！

### 膝を伸ばす



#### 目的

ふともも前面の筋力強化

#### 方法

- ・背筋を伸ばし、片足ずつ膝を伸ばす
- ・ゆっくり下ろす

#### 注意点

- ・つま先は自分の方に向ける

#### 回数の目安

回, セット/日

### ももをあげる



#### 目的

股関節前面・体幹の筋力強化

#### 方法

- ・背筋を伸ばし、ももをあげる
- ・ゆっくり下ろす

#### 注意点

- ・片足ずつ行う

#### 回数の目安

回, セット/日



# 二次的合併症予防のための新たな取り組み

03

## 大腿骨近位部骨折後の 合併症予防対策

### 主な合併症と予防対策

- ・せん妄、認知症機能低下 → 早期離床、積極的なコミュニケーション
- ・下肢静脈血栓症 → 足関節底背屈運動、フットポンプ、弾性ストッキング
- ・嚥下機能低下、誤嚥性肺炎 → ギャッチアップ、口腔ケア、嚥下体操、肩・頸部・胸郭可動域訓練、口腔周囲の運動・マッサージ

## せん妄・認知機能低下



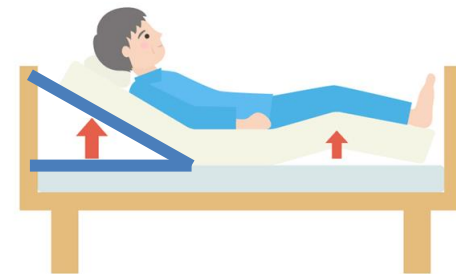
早期離床、運動療法に加えて、積極的なコミュニケーションや、ワーキングメモリーなどの課題を実施することでせん妄などを予防していく

## 誤嚥性肺炎



予防するには！！

## ギャッチアップ30°の徹底



口腔ケア